

| | | | |
|--------------------------------|---|--|---|
| 行政経営システムを構築し、弾力的かつ計画的な行財政運営を図る | 業務棚卸表と連携する内部管理システム数 経常収支比率 債務償還能力（全負債/償還充当可能財源） | | 財政経営課 |
| | 平成14年度値 | 5件 88.5% 4.57年 | |
| | 平成15年度見込み値 | 9件 87.8% 5.03年 | |
| | 平成18年度目標値 | 10件 88.4% 4.57年 | |
| | | 厳しい財政状況下、行政課題に柔軟に対応するため、目的・成果志向に基づく業務棚卸表を基本とする行財政運営を行います。業務棚卸表を中心に予算編成、人事・組織などの行政内部管理システムの連携を図り、効率的かつ効果的な行政経営システムを構築・推進します。財源配分方式による予算編成を行います。行政経営戦略プランの行革プラン、財政プランの進捗管理や見直しを行い、財政の健全化を図ります。 | - |
| | | | 業務棚卸表を基本ツールとするマネジメントの形成 政策マネジメントの強化 行政評価の公表と外部評価の導入 財源配分方式による予算編成システムの推進 決算や監査における行政評価の活用 受益者負担のあり方の検討 補助金、負担金の適正化 外郭団体の統廃合及び業務の整理合理化等の検討 公の施設の管理における指定管理者制度の導入 |